

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考										
1	119	内	メモリードライシロップ2%	2%1g	406.10円	第一三共	メマンチン塩酸塩	中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制	<p>通常、成人にはメマンチン塩酸塩として1日1回5mgから開始し、1週間に5mgずつ増量し、維持量として1日1回20mgを経口投与する。</p> <p>参考：各有効成分量に対するドライシロップとしての用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有効成分</th> <th>ドライシロップ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5mg</td> <td>0.25g</td> </tr> <tr> <td>10mg</td> <td>0.5g</td> </tr> <tr> <td>15mg</td> <td>0.75g</td> </tr> <tr> <td>20mg</td> <td>1.0g</td> </tr> </tbody> </table>	有効成分	ドライシロップ	5mg	0.25g	10mg	0.5g	15mg	0.75g	20mg	1.0g	再審査期間中の剤形追加
有効成分	ドライシロップ																			
5mg	0.25g																			
10mg	0.5g																			
15mg	0.75g																			
20mg	1.0g																			
2	429	内	イクスタンジ錠40mg	40mg1錠	2,354.10円	アステラス製薬	エンザルタミド	去勢抵抗性前立腺癌	通常、成人にはエンザルタミドとして160mgを1日1回経口投与する。	再審査期間中の剤形追加										
		イクスタンジ錠80mg	80mg1錠	4,563.70円																
3	112	注	プレセデックス静注液200µg/50mLシリンジ「ファイザー」	200µg 50mL1筒	5,212円	ファイザー	デクスメドミジン塩酸塩	<p>集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静</p> <p>局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静</p>	<p>1. 集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静</p> <p>通常、成人には、デクスメドミジンを6µg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し（初期負荷投与）、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として0.2～0.7µg/kg/時の範囲で持続注入する（維持投与）。また、維持投与から開始することもできる。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。</p> <p>2. 局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静</p> <p>通常、成人には、デクスメドミジンを6µg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し（初期負荷投与）、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として0.2～0.7µg/kg/時の範囲で持続注入する（維持投与）。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。</p>	新キット製品										

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
4	112	注	プレセデックス静注液200μg/50mLシリンジ「マルイシ」	200μg50mL1筒	5,413円	丸石製薬	デクスメデトミジン塩酸塩	集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静 通常、成人には、デクスメデトミジンを6μg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し(初期負荷投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として0.2~0.7μg/kg/時の範囲で持続注入する(維持投与)。また、維持投与から開始することもできる。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。 局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静 通常、成人には、デクスメデトミジンを6μg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し(初期負荷投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として0.2~0.7μg/kg/時の範囲で持続注入する(維持投与)。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。	1.集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静 通常、成人には、デクスメデトミジンを6μg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し(初期負荷投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として0.2~0.7μg/kg/時の範囲で持続注入する(維持投与)。また、維持投与から開始することもできる。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。 2.局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静 通常、成人には、デクスメデトミジンを6μg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し(初期負荷投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として0.2~0.7μg/kg/時の範囲で持続注入する(維持投与)。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。	新キット製品
5	325	注	ワンバル1号輸液	800mL1キット	1,100円	エイワイファーマ	ブドウ糖、塩化ナトリウム等	経口、経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分、電解質、アミノ酸、カリウム、ビタミン、亜鉛、鉄、銅、マンガン及びヨウ素の補給	経中心静脈栄養療法の開始時で、耐糖能が不明の場合や耐糖能が低下している場合の開始液として、あるいは侵襲時等で耐糖能が低下している場合の維持液として用いる。 用時に隔壁を開通し、大室、中室、小室T及び小室Vの液を混合して開始液又は維持液とする。 通常、成人1日1600mLの開始液又は維持液を24時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。 なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。	類似処方医療用配合剤
			ワンバル1号輸液	1200mL1キット	1,353円				経中心静脈栄養療法の維持液として用いる。 用時に隔壁を開通し、大室、中室、小室T及び小室Vの液を混合して維持液とする。 通常、成人1日1600mLの維持液を24時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。 なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。	
			ワンバル2号輸液	800mL1キット	1,199円					
			ワンバル2号輸液	1200mL1キット	1,501円					

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
6	399	注	イラリス皮下注射液 150mg	150mg1mL1瓶	1,480,264円	ノバルティスファーマ	カナキヌマブ（遺伝子組換え）	<p>1.以下のクリオピリン関連周期性症候群</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家族性寒冷自己炎症症候群 ●マックル・ウェルズ症候群 ●新生児期発症多臓器系炎症性疾患 <p>2.既存治療で効果不十分な家族性地中海熱</p> <p>3.TNF受容体関連周期性症候群</p> <p>4.高IgD症候群（メバロン酸キナーゼ欠損症）</p>	<p>1. クリオピリン関連周期性症候群 通常、体重40kg以下の患者にはカナキヌマブ（遺伝子組換え）として1回2mg/kgを、体重40kgを超える患者には1回150mgを8週毎に皮下投与する。</p> <p>十分な臨床的効果（皮疹及び炎症症状の寛解）がみられない場合には適宜漸増するが、1回最高用量は体重40kg以下の患者では8mg/kg、体重40kgを超える患者では600mgとする。</p> <p>最高用量まで増量し、8週以内に再燃がみられた場合には、投与間隔を4週間まで短縮できる。</p> <p>なお、症状に応じて1回投与量の増減を検討すること。</p> <p>2. 家族性地中海熱及びTNF受容体関連周期性症候群 通常、体重40kg以下の患者にはカナキヌマブ（遺伝子組換え）として1回2mg/kgを、体重40kgを超える患者には1回150mgを、4週毎に皮下投与する。</p> <p>十分な臨床的効果がみられない場合には追加投与又は適宜漸増するが、1回最高用量は体重40kg以下の患者では4mg/kg、体重40kgを超える患者では300mgとする。</p> <p>3. 高IgD症候群（メバロン酸キナーゼ欠損症） 通常、体重40kg以下の患者にはカナキヌマブ（遺伝子組換え）として1回2mg/kgを、体重40kgを超える患者には1回150mgを、4週毎に皮下投与する。</p> <p>十分な臨床的効果がみられない場合には追加投与又は適宜漸増するが、1回最高用量は体重40kg以下の患者では6mg/kg、体重40kgを超える患者では450mgとする。</p>	再審査期間中の規格追加

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
7	399	注	エタネルセプトBS皮下注用10mg「MA」	10mg1瓶	3,697円	持田製薬	エタネルセプト (遺伝子組換え) [エタネルセプト後続1]	既存治療で効果不十分な下記疾患 関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む） 多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎	関節リウマチ 本剤を日本薬局方注射用水1mLで溶解し、通常、成人にはエタネルセプト（遺伝子組換え）[エタネルセプト後続1]として10～25mgを1日1回、週に2回、又は25～50mgを1日1回、週に1回、皮下注射する。 多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎 本剤を日本薬局方注射用水1mLで溶解し、通常、小児にはエタネルセプト（遺伝子組換え）[エタネルセプト後続1]として0.2～0.4mg/kgを1日1回、週に2回、皮下注射する。 (小児の1回投与量は成人の標準用量(1回25mg)を上限とすること)	バイオ後続品
			エタネルセプトBS皮下注用25mg「MA」	25mg1瓶	9,099円					
8	399	注	エタネルセプトBS皮下注25mgシリンジ0.5mL「MA」	25mg0.5mL1筒	9,249円	持田製薬	エタネルセプト (遺伝子組換え) [エタネルセプト後続1]	既存治療で効果不十分な関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）	本剤を、通常、成人にはエタネルセプト（遺伝子組換え）[エタネルセプト後続1]として10～25mgを1日1回、週に2回、又は25～50mgを1日1回、週に1回、皮下注射する。	バイオ後続品
			エタネルセプトBS皮下注50mgシリンジ1.0mL「MA」	50mg1mL1筒	18,134円					
9	399	注	エタネルセプトBS皮下注50mgペン1.0mL「MA」	50mg1mL1キット	18,190円	持田製薬	エタネルセプト (遺伝子組換え) [エタネルセプト後続1]	既存治療で効果不十分な関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）	本剤を、通常、成人にはエタネルセプト（遺伝子組換え）[エタネルセプト後続1]として10～25mgを1日1回、週に2回、又は25～50mgを1日1回、週に1回、皮下注射する。	バイオ後続品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
10	399	注	ヒュミラ皮下注 40mgペン0.4mL	40mg0.4 mL1キット	62,596円	アッヴィ	アダリム マブ（遺 伝子組換 え）	<p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <p>多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎</p> <p>関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）</p> <p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <p>尋常性乾癬，関節症性乾癬，膿疱性乾癬</p> <p>強直性脊椎炎</p> <p>腸管型ベーチェット病</p> <p>非感染性の中間部，後部又は汎ぶどう膜炎</p> <p>中等症又は重症の活動期にあるクローン病の寛解導入及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）</p> <p>中等症又は重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）</p>	<p>多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎 通常，アダリムマブ（遺伝子組換え）として，体重15kg以上30kg未満の場合は20mgを，体重30kg以上の場合は40mgを2週に1回，皮下注射する。</p> <p>関節リウマチ 通常，成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として40mgを2週に1回，皮下注射する。なお，効果不十分な場合，1回80mgまで増量できる。</p> <p>尋常性乾癬，関節症性乾癬，膿疱性乾癬 通常，成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に80mgを皮下注射し，以後2週に1回，40mgを皮下注射する。なお，効果不十分な場合には1回80mgまで増量できる。</p> <p>強直性脊椎炎 通常，成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として40mgを2週に1回，皮下注射する。なお，効果不十分な場合，1回80mgまで増量できる。</p> <p>腸管型ベーチェット病 通常，成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に160mgを，初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は，40mgを2週に1回，皮下注射する。</p> <p>クローン病 通常，成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に160mgを，初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は，40mgを2週に1回，皮下注射する。なお，効果が減弱した場合には1回80mgに増量できる。</p> <p>潰瘍性大腸炎 通常，成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に160mgを，初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は，40mgを2週に1回，皮下注射する。</p> <p>非感染性の中間部，後部又は汎ぶどう膜炎 通常，成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に80mgを，初回投与1週間後に40mgを皮下注射する。初回投与3週間後以降は，40mgを2週に1回，皮下注射する。</p>	再審査期間中の剤形追加

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
			ヒュミラ皮下注 80mgペン0.8mL	80mg0.8 mL1キット	121,448円			<p>関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）</p> <p>既存治療で効果不十分な下記疾患 尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬</p> <p>強直性脊椎炎</p> <p>腸管型ベーチェット病</p> <p>非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎</p> <p>中等症又は重症の活動期にあるクローン病の寛解導入及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）</p> <p>中等症又は重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）</p>	<p>関節リウマチ 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。</p> <p>尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に80mgを皮下注射し、以後2週に1回、40mgを皮下注射する。なお、効果不十分な場合には1回80mgまで増量できる。</p> <p>強直性脊椎炎 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。</p> <p>腸管型ベーチェット病 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。</p> <p>クローン病 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果が減弱した場合には1回80mgに増量できる。</p> <p>潰瘍性大腸炎 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。</p> <p>非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）として初回に80mgを、初回投与1週間後に40mgを皮下注射する。初回投与3週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。</p>	再審査期間中の剤形追加

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
11	399	注	ミルセラ注シリンジ 12.5µg	12.5µg 0.3mL1筒	3,504円	中外製薬	エポエチン ベータ ヘゴル (遺伝子組換え)	腎性貧血	<p><血液透析患者></p> <p>(1) 初回用量 通常、成人にはエポエチン ベータ ヘゴル (遺伝子組換え) として、1回50µgを2週に1回静脈内投与する。</p> <p>(2) エリスロポエチン (エポエチン アルファ (遺伝子組換え)、エポエチン ベータ (遺伝子組換え) 等) 製剤からの切替え初回用量 通常、成人にはエポエチン ベータ ヘゴル (遺伝子組換え) として、1回100µg又は150µgを4週に1回静脈内投与する。</p> <p>(3) 維持用量 貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン ベータ ヘゴル (遺伝子組換え) として、1回25~250µgを4週に1回静脈内投与する。</p> <p>なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、1回250µgとする。</p> <p><腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者></p> <p>(1) 初回用量 通常、成人にはエポエチン ベータ ヘゴル (遺伝子組換え) として、1回25µgを2週に1回皮下又は静脈内投与する。</p> <p>(2) エリスロポエチン (エポエチン アルファ (遺伝子組換え)、エポエチン ベータ (遺伝子組換え) 等) 製剤からの切替え初回用量 通常、成人にはエポエチン ベータ ヘゴル (遺伝子組換え) として、1回100µg又は150µgを4週に1回皮下又は静脈内投与する。</p> <p>(3) 維持用量 貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン ベータ ヘゴル (遺伝子組換え) として、1回25~250µgを4週に1回皮下又は静脈内投与する。</p> <p>なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、1回250µgとする。</p>	再審査期間中の規格追加
12	429	注	トラスツズマブBS点滴静注用60mg 「NK」	60mg1瓶	13,683円	日本化薬	トラスツズマブ (遺伝子組換え) [トラスツズマブ後続1]	HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌	<p>他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人に対して1日1回、トラスツズマブ(遺伝子組換え) [トラスツズマブ後続1] として初回投与時には8mg/kg(体重)を、2回目以降は6mg/kgを90分以上かけて3週間間隔で点滴静注する。</p> <p>なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。</p>	バイオ後続品
			トラスツズマブBS点滴静注用150mg 「NK」	150mg1瓶	31,858円					

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
13	429	注	トラスツズマブBS点滴静注用60mg 「CTH」	60mg1瓶	13,683円	Celltrion	トラスツズマブ (遺伝子組換え) 〔トラスツズマブ後続1〕	HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌	他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人に対して1日1回、トラスツズマブ(遺伝子組換え)〔トラスツズマブ後続1〕として初回投与時には8mg/kg(体重)を、2回目以降は6mg/kgを90分以上かけて3週間間隔で点滴静注する。 なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。	バイオ後続品
			トラスツズマブBS点滴静注用150mg 「CTH」	150mg1瓶	31,858円					
14	631	注	ヘプタボックス-II 水性懸濁注シリンジ 0.25mL	0.25mL1筒	2,176円	MSD	組換え沈降B型肝炎ワクチン(酵母由来)	1. B型肝炎の予防 2. B型肝炎ウイルス母子感染の予防(抗HBs人免疫グロブリンとの併用) 3. HBs抗原陽性でかつHBe抗原陽性の血液による汚染事故後のB型肝炎発症予防(抗HBs人免疫グロブリンとの併用)	1. B型肝炎の予防 通常、0.5mLずつを4週間隔で2回、更に、20~24週を経過した後に1回0.5mLを皮下又は筋肉内に注射する。ただし、10歳未満の者には、0.25mLずつを同様の投与間隔で皮下に注射する。 ただし、能動的HBs抗体が獲得されていない場合には追加注射する。 2. B型肝炎ウイルス母子感染の予防(抗HBs人免疫グロブリンとの併用) 通常、0.25mLを1回、生後12時間以内を目安に皮下に注射する。更に、0.25mLずつを初回注射の1箇月後及び6箇月後の2回、同様の用法で注射する。 ただし、能動的HBs抗体が獲得されていない場合には追加注射する。 3. HBs抗原陽性でかつHBe抗原陽性の血液による汚染事故後のB型肝炎発症予防(抗HBs人免疫グロブリンとの併用) 通常、0.5mLを1回、事故発生後7日以内に皮下又は筋肉内に注射する。更に0.5mLずつを初回注射の1箇月後及び3~6箇月後の2回、同様の用法で注射する。なお、10歳未満の者には、0.25mLずつを同様の投与間隔で皮下に注射する。 ただし、能動的HBs抗体が獲得されていない場合には追加注射する。	新キット製品
			ヘプタボックス-II 水性懸濁注シリンジ 0.5mL	0.5mL1筒	2,417円					

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
15	634	注	アディノバイト静注用キット250	250国際単位1キット (溶解液付)	31,739円	シャイ アー・ジャ パン	ルリオク トコグ アルファ ベゴル (遺伝子 組換え)	血液凝固第VIII因子 欠乏患者における出 血傾向の抑制	本剤を添付の溶解液5mLで溶解し、 緩徐に静脈内に注射する。なお、 10mL/分を超えない速度で注入する こと。 通常、1回体重1kg当たり10~30国際 単位を投与するが、患者の状態に応 じて適宜増減する。 定期的に投与する場合、通常、成人 及び12歳以上の小児には、1回体重 1kg当たり40~50国際単位を週2回投 与するが、患者の状態に応じて1回体 重1kg当たり60国際単位に増量でき る。12歳未満の小児には、1回体重 1kg当たり40~60国際単位を週2回投 与するが、患者の状態に応じて1回体 重1kg当たり80国際単位を超えない 範囲で増量できる。	新キット製品
			アディノバイト静注用キット500	500国際単位1キット (溶解液付)	58,658円					
			アディノバイト静注用キット1000	1,000国際単位1キ ット(溶解液 付)	108,410円					
			アディノバイト静注用キット2000	2,000国際単位1キ ット(溶解液 付)	200,359円					
16	634	注	オルプロリクス静注用4000	4,000国際単位1瓶 (溶解液付)	820,934円	バイオベ ラ ティ ブ・ ジャ パン	エフト レ ノ ナ コ グ アル ファ (遺 伝 子 組 換 え)	血液凝固第IX因子欠 乏患者における出血 傾向の抑制	本剤を添付の溶解液全量で溶解し、 数分かけて緩徐に静脈内に注射す る。 通常、1回体重1kg当たり50国際単位 を投与するが、患者の状態に応じて 適宜増減する。 定期的に投与する場合、通常、体重 1kg当たり50国際単位を週1回投与、 又は100国際単位を10日に1回投与か ら開始する。以降の投与量及び投与 間隔は患者の状態に応じて適宜調節 するが、1回の投与量は体重1kg当 たり100国際単位を超えないこと。	再審査期間中の規 格追加

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売 剤機構	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
17	634	注	献血ヴェノグロブリンIH10% 静注0.5g/5mL	500mg5mL1瓶	4,559円	日本血液製剤機構	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	1.低並びに無ガンマグロブリン血症	本剤は効能・効果に応じて以下のとおり投与する。なお、直接静注する場合は、きわめて緩徐に行うこと。	再審査期間中の規格追加
			2.重症感染症における抗生物質との併用	・低並びに無ガンマグロブリン血症： 通常、1回人免疫グロブリンGとして200～600mg（2～6mL）/kg体重を3～4週間隔で点滴静注又は直接静注する。患者の状態によって適宜増減する。						
			3.特発性血小板減少性紫斑病（他剤が無効で、著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合）	・重症感染症における抗生物質との併用： 通常、成人に対しては、1回人免疫グロブリンGとして2,500～5,000mg（25～50mL）を、小児に対しては、1回人免疫グロブリンGとして100～150mg（1～1.5mL）/kg体重を点滴静注又は直接静注する。症状によって適宜増減する。						
献血ヴェノグロブリンIH10% 静注2.5g/25mL	2.5g25mL1瓶	20,525円	4.川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）	・特発性血小板減少性紫斑病： 通常1日に、人免疫グロブリンGとして200～400mg（2～4mL）/kg体重を点滴静注又は直接静注する。なお、5日間使用しても症状に改善が認められない場合は、以降の投与を中止すること。年齢及び症状に応じて適宜増減する。						
献血ヴェノグロブリンIH10% 静注5g/50mL	5g50mL1瓶	38,547円	5.多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善（ステロイド剤が効果不十分な場合に限り）	・川崎病の急性期： 通常、人免疫グロブリンGとして1日に400mg（4mL）/kg体重を5日間点滴静注又は直接静注、若しくは人免疫グロブリンGとして2,000mg（20mL）/kg体重を1回点滴静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。						
			6.慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善	・多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善（ステロイド剤が効果不十分な場合に限り）： 通常、成人には1日に人免疫グロブリンGとして400mg（4mL）/kg体重を5日間点滴静注する。						
			7.慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の運動機能低下の進行抑制（筋力低下の改善が認められた場合）	・慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善： 通常、1日に人免疫グロブリンGとして400mg（4mL）/kg体重を5日間連日点滴静注又は直接静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。						
			8.全身型重症筋無力症（ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限り）	・慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の運動機能低下の進行抑制（筋力低下の改善が認められた場合）： 通常、人免疫グロブリンGとして「1,000mg（10mL）/kg体重を1日」又は「500mg（5mL）/kg体重を2日間連日」を3週間隔で点滴静注する。						
			9.天疱瘡（ステロイド剤の効果不十分な場合）	・全身型重症筋無力症（ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限り）： 通常、成人には1日に人免疫グロブリンGとして400mg（4mL）/kg体重を5日間点滴静注する。						
			10.血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ							

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
			献血ヴェノグロブリンIH10% 静注10g/100mL	10g100mL1瓶	77,245円			<p>菌を起炎菌とする急性中耳炎, 急性気管支炎又は肺炎の発症抑制(ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず, 発症を繰り返す場合に限る)</p> <p>11.水疱性類天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)</p> <p>12.ギラン・バレー症候群(急性増悪期で歩行困難な重症例)</p>	<p>・天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合): 通常, 1日に人免疫グロブリンGとして400mg(4mL)/kg体重を5日間連日点滴静注する。なお, 年齢及び症状に応じて適宜減量する。</p> <p>・血清IgG2値の低下を伴う, 肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎, 急性気管支炎又は肺炎の発症抑制(ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず, 発症を繰り返す場合に限る): 人免疫グロブリンGとして初回は300mg(3mL)/kg体重, 2回目以降は200mg(2mL)/kg体重を投与する。投与間隔は, 通常, 4週間とする。</p> <p>・水疱性類天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合): 通常, 1日に人免疫グロブリンGとして400mg(4mL)/kg体重を5日間連日点滴静注する。</p> <p>・ギラン・バレー症候群(急性増悪期で歩行困難な重症例): 通常, 1日に人免疫グロブリンGとして400mg(4mL)/kg体重を5日間連日点滴静注する。</p>	
			献血ヴェノグロブリンIH10% 静注20g/200mL	20g200mL1瓶	154,188円					

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
18	729	注	ガドピスト静注 1.0mol/L 2mL	60.47%2 mL1瓶	2,152円	バイエル薬 品	ガドプト ロール	磁気共鳴コンピュー ター断層撮影におけ る下記造影 脳・脊髄造影 躯幹部・四肢造影	通常、本剤0.1mL/kgを静脈内投与す る。	再審査期間中の剤 形追加
19	261	外	オラネジン消毒液 1.5%OR	1.5%10m L	—	大塚製薬工 場	オラネキ シジング グルコン 酸塩	手術部位（手術野） の皮膚の消毒	本剤を適量塗布する。	その他の医薬品 （再審査期間中の もの）
20	261	外	オラネジン液 1.5%OR消毒用アプ リケータ10mL	1.5%10m L1管	—	大塚製薬工 場	オラネキ シジング グルコン 酸塩	手術部位（手術野） の皮膚の消毒	本剤を適量塗布する。	その他の医薬品 （再審査期間中の もの）
			オラネジン液 1.5%OR消毒用アプ リケータ25mL	1.5%25m L1管	—					
21	269	外	ドボベットゲル	1g	247.50円	レオファーマ	カルシボ トリオー ル水和物/ ベタメタ ゾンジブ ロピオン 酸エステ ル	尋常性乾癬	通常、1日1回、患部に適量塗布す る。	再審査期間中の剤 形追加

- ・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。